

各地域における取組

1 北足立地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 県産農産物サポート店の登録推進
- (2) 農産物直売所（量販店地場産コーナーを含む）の販売向上への支援
- (3) 農商工連携及び6次産業化の推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
<p>通年</p> <p>8月28日</p> <p>8月29日</p> <p>通年</p>	<p>(1) 県産農産物サポート店の登録推進（新規登録9店舗）</p> <div data-bbox="699 734 1050 999" data-label="Image"> </div> <p>利用している埼玉県農産物：トマト 手島農園（桶川市）</p> <p>(2) 農産物直売所（量販店地場産コーナーを含む）の販売向上への支援</p> <p>○JA農産物直売所等キャンペーンの開催</p> <p>管内4か所の農産物直売所で彩玉のPRスペースを設置した。のぼり旗による装飾やチラシを来客者へ配布することで、彩玉のPR活動を行った。</p> <div data-bbox="397 1350 632 1715" data-label="Image"> </div> <p>写真：地場物産館桜国屋（北本市）</p> <p>※他、四季彩館農産物直売所（伊奈町）、上尾ぐるめ米ランド（上尾市）、べに花の郷若宮直売所（桶川市）でPR活動を実施。</p> <p>○市及び農業団体等が実施する地産地消活動の支援</p> <p>各市で地域住民等を対象に農業体験を実施し、その活動を支援した。</p> <p>さいたま市：さつまいも、じゃがいも</p>



さいたま市での活動の様子（さつまいも）

○管内小中学校での栽培指導

小学校での田植え及び水稻の農業体験の実施と技術指導

→新型コロナウイルスの影響で未実施

11月～2月

(3)農商工連携及び6次産業化の推進

○「農と食のオンライン展示・商談会 in SAITAMA 2022」への出展推進

管内の農業者等への出展推進及び出展に対する支援を行った。

(出展者数1団体)

通年

○埼玉県ふるさと認証食品の推進（R4.3末累計）

認証食品 44製品（新規登録1製品）

うちプレミアム 14製品



商品：激辛注意 草加産島とうがらし 粗挽き一味

(有喜作 (草加市))

4月27日

○6次産業化経営実務研修会「HACCPの考えを取り入れた衛生管理」

6次化に取り組む事業者に対し、改正された食品衛生法に基づくHACCPの取組について研修会を行った。事業者は「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」について講義を受けるとともに、実際に個々に分かれ衛生管理計画の作成を行った。



講義の様子



個別による衛生管理計画作成

11月9日

通年

○6次産業化スキルアップ研修会「ネット販売初心者講座」

中小企業診断士を講師に招き、ネット販売に取り組む際の考え方と注意点について講義を受けた。当日は新型コロナウイルス感染拡大防止から、会場とWebの2通りの方法で開催した。

○新商品の開発

管内の生産者の加工品開発の支援を実施。



商品：くわいジェラード
見沼ひるま農園
(さいたま市)



商品：甘酢ゆずだいこん
すだファーム
(朝霞市)



商品：しそべえ
おはりや
(桶川市)



商品：トマトジュース
株ベジファーム北本
(北本市)






商品：トマトジャム
株ベジファーム北本
(北本市)

2 入間地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 地元農産物のPR活動・販売支援
- (2) 6次産業化及び農商工連携の推進
- (3) 食育の推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
<p>11月27日 11月28日</p>	<p>(1) 地元農産物のPR活動・販売支援</p> <p>○彩の国マルシェ・ワカバウォークにおける地域農産物の販売 鶴ヶ島市の若葉駅前のワカバウォークにおいて開催された「彩の国マルシェ・ワカバ・スタイル」にJAいるま野の「明日の農業担い手育成塾」の塾生19名並びに管内の若手農業者が入間地域で生産した農産物の販売を行った。新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながらも入場制限を緩和し、前年度より誘客に配慮した開催であった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>通年</p>	<p>○ウェスタ川越県政情報コーナーでの農産物PR コバトンぬいぐるみを活用して、のぼり旗の設置や装飾、ポスター掲示を行い、施設利用者に対して県産農産物をPRした。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>通年</p>	<p>○県産農産物サポート店の登録推進 544店舗（継続）</p>

4月27日

(2) 6次産業化及び農商工連携の推進

○農業の6次産業化研修会「HACCP・食品表示研修会」

梅干加工農家から強い要望のあった HACCP 並びに食品表示について、越生町役場、狭山保健所及び坂戸保健所職員と連携して研修会を開催した。対象の越生梅干し部会の23戸中19戸が出席する高い参加率となり、活発な質疑応答が行われ有意義な研修となった。

(参加者：梅干加工農家19人)

6月10日

○農業の6次産業化研修会「埼玉県茶業協会飯能支部のHACCP研修会」

埼玉県茶業協会飯能支部の要請に基づき、狭山保健所食品監視担当と連携して HACCP 研修会を実施した。

2時間程度の講義が行われ、農業者から好評を得た。

(参加者：農業者22人)

○管内農業経営体を対象とする個別指導

管内農業経営体を対象に、商品開発、副産物活用、事業計画策定等に関する助言指導を実施した。

(対象経営体：農家、農業法人等 19経営体)

通年

○ふるさと認証食品の認証推進

認証食品 60製品 (新規認証 なし)

うちプレミアム 36製品



入間地域産豚肉を使ったソーセージ



県内酪農家生産の牛乳

(3) 食育の推進

親子クッキングコンテストの支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため昨年度に引き続き開催中止となった。

3 比企地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進
- (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援
- (3) 食育の推進
- (4) 地元農産物の加工利用推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取組状況
12月20日 ～24日	<p>(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進</p> <p>○浦和競馬場での地元農産物の販売・PR</p> <p>令和3年度第10回浦和競馬（12月20日～24日）に、各市町村の協力のもと、冠レースの施行、優勝者（馬主）への副賞品（比企地域産農産物加工品）の提供を行った。</p> 
10月下旬	<p>(2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動支援</p> <p>○比企地域産米の消費拡大活動支援</p> <p>1町（小川町）の新米祭りイベントにおける「彩のかがやき」等比企地域産米の試食を実施し、消費拡大事業に対する支援をした。</p>

通年

(3) 食育の推進

○ふるさと支援隊による活動

農業ビジネス支援課所管の「ふるさと支援隊」事業の活動が日本大学により実施され、2月に活動報告を行った。

本年度の活動Ⅲ: ZOOMによるポケットマルシェ勉強会

・ポケットマルシェは農産物のオンライン販売を手掛けるサイトで、配送手続きが簡単、消費者の声も直接聞ける

→消費者と生産者がやり取りできるので顧客の確保にも

・食糧廃棄問題が顕著

→生産者の顔や苦労を知ること
食の重要さを再確認

・集客方法は主に、SNSを使う



写真:ポケットマルシェ代表 高橋博之様

1月下旬

○埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業

鳩山町は、令和3年度埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業を活用し、食育教室(2回)及びレシピコンテストを開催した。コンテストで受賞したレシピは、レシピブックとしてまとめられ、配布された(200部)。

速報!

たくさんのご応募・web 審査へのご参加ありがとうございました!

「はとやま食エコレシピコンテスト2021」結果発表

町では、「食品ロスの削減」と「食育」につながる取組として、令和2年度より「はとやま食エコ推進事業」をスタートしました。その取り組みの1つとして、普段何気なく捨ててしまう食材を利用するなど、食エコなアイデアレシピを募集し、審査により優秀作品を決定する「はとやま食エコレシピコンテスト」を開催しました。そして、皆さまからご応募いただいた36作品の中から、書類による一次審査とwebによる二次審査を経て、グラン

プリが決定しました! 入選した優秀作品のレシピは、町民の皆さまに広くお伝えしていく予定ですので、楽しみにしてください。

■表彰等について 受賞された方には、後日、個別にご連絡させていただきます。なお、ご応募いただいた方全員に、ご所属校等を通じて参加賞を贈呈いたします。

■問合せ はとやま食エコレシピコンテスト事務局(町保健センター) ☎296-2530

	最優秀賞 「シャキ! シャキ! 感がとまらない! おいしい長芋おかず!」 千須和 朱璃さん考案 (今宿小学校4年)		優秀賞 「のこりめんのにピザ」 小野 花枝さん考案 (鳩山小学校2年)
	優秀賞 「残った肉じゃがで肉じゃが春巻」 安田 幸司さん考案 (鳩山中学校1年)		特別賞 「レタスの外葉のミルフィーユ」 坂 莉菜子さん考案 (女子栄養大学3年)
	特別賞 「かぼちゃの煮物 de クッキー」 土田 莉子さん考案 (女子栄養大学3年)		特別賞 「カリカリ肉だんご」 黒澤 陽菜さん考案 (鳩山中学校3年)
	特別賞 「リーフギョウザ」 岸 翔子さん考案 (一般)		女子栄養大学特別賞 「揚げのカレーピラフ」 富岡 紗良さん考案 (今宿小学校4年)

通年

(4) 地元農産物の加工利用推進

○6次産業化研修会（ジャム加工）の開催（中止）

女性農業者団体向けに、ジャムの加工研修を開催予定であったが、新型コロナウイルスまん延防止措置の影響で中止となった。

○ふるさと認証食品の推進

継続認証 5件 新規認証 3件



都幾川うどん
(有限会社高柳製麺所)



霜里おぼろ豆腐
(有)とうふ工房わたなべ



焼きだんご
(めん処みはらし)

4 秩父地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 地産地消運動の普及・啓発
- (2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取組状況
6月19日	(1)地産地消の啓発・普及 ○秩父鉄道、秩父観光農林業協会と連携した秩父産ブルーベリーのPR（秩父鉄道SLブルーベリー号）
7月20日	○わっしょい大使による秩父産ブルーベリーのPR <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「埼玉わっしょい大使」保井ひろゆきです👋</p> <p>埼玉県の農産物の魅力をどしどし発信していきます👍</p> <p>今回は秩父のブルーベリーをご紹介します!! みどりの森ブルーベリー組合の皆さんが栽培する農園でブルーベリー狩りをさせて頂きました!!</p> <p>一言でブルーベリーと言っても様々な品種があって名前も味も個性たっぷり👍</p> <p>6月下旬ごろから収穫できるハイブッシュ系のスバルタン、ダロー、おみつぶ里、エチョクタ、、、</p> <p>これから収穫時期を迎えるラビットアイ系のフクベリー、ティフブルー、グライトウエル、、、</p> <p>味も酸味が強いものから、ほっぺがとろけるような甘いモノまで👍</p> <p>同じ品種でも微妙に味や酸味が違ったりします👍</p> <p>是非あなたのお気に入りのブルーベリーの木を見つけてください👍👍</p> <p>摘んだブルーベリーはそのまま食べるもよし、ジャムなど加工してもよし👍</p> <p>8月中はブルーベリー狩りが楽しめるので感染症対策、熱中症対策をバッチリして行ってください!!</p> </div> </div>
8月25日～27日	○西武鉄道と連携したちちぶ山ルビーのPR（西武鉄道ラビュー輸送・販売）
9月18日	○秩父鉄道、秩父観光農林業協会と連携した秩父産シャインマスカットのPR（秩父鉄道SLシャインマスカット号）
10月20日～22日	○西武鉄道と連携した秩父産シャインマスカット・棚田米のPR（西武鉄道ラビュー輸送・販売）

11月

○秩父鉄道広報誌『PALETTE (11月号)』読者にしゃくし菜プレゼント
「PALETTE (11月号)」の読者に対して、秩父地域の特産品「しゃくし菜の漬物」のプレゼント配布をおこなった。



11月 7日

○尾ノ内溪谷紅葉まつりで秩父産きゅうり、かぼす、シイタケのPR
アンケートを回答いただいた方にきゅうり(2本)及びかぼす(1個)、しいたけ(3個)の無料配布を行った(ブランド農産物PRと合わせてS-GAPのPRも実施)。



11月 21日

○横瀬町第10回里山まるマルシェでのかぼす、ゆずのPR
ブランド農産物及び中山間地域の活動のPRとしてかぼす(2個)とゆず(1個)のセットを先着300名にプレゼントし、PRした。



12月

○秩父鉄道広報誌『PALETTE (12月号)』読者にしいたけのプレゼント
「PALETTE (12月号)」の読者に対して、秩父地域の特産品「しいたけ」のプレゼント配布をおこなった。



<p>1月10日</p> <p>1月12日～18日</p> <p>2月</p> <p>2月16日～18日</p>	<p>○秩父鉄道、秩父観光農林業協会と連携した秩父産いちごのPR (秩父鉄道SLストロベリー号)</p> <p>○西武鉄道と連携した秩父産いちごのPR (西武鉄道ラビュー輸送・販売)</p> <p>○秩父鉄道広報誌『PALETTE (2月号)』読者にいちごのプレゼント 「PALETTE (2月号)」の読者に対して、秩父地域の特産品「いちご」のプレゼント配布をおこなった。</p> <div data-bbox="635 607 1104 907" data-label="Image"> </div> <p>○西武鉄道と連携した秩父産いちごのPR (西武鉄道ラビュー輸送・販売)</p>
<p>10月21日</p> <p>通年</p>	<p>(2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進</p> <p>○食と農のオンライン展示・商談会 管内の生産者1名(秩父ファーマーズファクトリー)が参加した。</p> <p>○新商品の開発 管内生産者の加工品開発の支援を実施。</p> <div data-bbox="395 1303 1385 1960" data-label="Image"> </div> <p>きゅうりピクルスセット</p> <p>ドライフードセット (6種のぶどう)</p> <p>長瀬チャイ</p> <p>かっぱサイダー (きゅうりのサイダー)</p>

11月25日	<p>○6次産業化研修会の開催</p> <p>6次産業化を推進するため、生産者に対し、農業経営に必要なマーケティングについて静岡県立大学の岩崎教授を講師とした「マーケティング研修会（オンライン）」を開催した（参加者15名）。</p>
通年	<p>(3)ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進</p> <p>○ふるさと認証食品の認証 更新4製品</p>

5 児玉地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 地元農産物PR活動の支援
- (2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
- (4) 6次産業化及び農商工連携の推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
11月21日 12月19日	<p>(1) 地元農産物PR活動の支援 ○ホンタマルシェ出展</p> <p>ユニクス上里（上里町）で11月・12月に行われた“ホンタマルシェ”（地産地消を主旨とする農商工団体の出展する直売イベント）に出展した。</p> <p>11月は埼玉ブランド農産物である「本庄の花付ききゅうり」「本庄のやまといも」をPRし、「児玉郡市のポインセチア」を委託販売した。</p> <p>12月は、米の消費拡大を図るため、埼玉県ブランド米『彩のきずな』の販促プロモーションを行い、あわせて旬の児玉地域産農産物であるブロッコリー、カリフラワー、ロマネスコをPRした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>出展ブースの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>来場者の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>彩のきずな</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>前列左からブロッコリー、ロマネスコ、カリフラワー 後列は2つともカリフラワー</p> </div> </div>

7月17日
7月18日

(2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援

○ブルーベリーまつり

観光農園の本格オープンに合わせ、JA埼玉ひびきの美里万葉の里直売所でブルーベリーまつりが開催された。それに先立ち、県フェイスブックによるPRを行った。

通年

(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

○県産農産物サポート店の新規登録（4店舗）



アグリパーク上里（上里町）



宝美いちご（上里町）

通年

○ふるさと認証食品の認証（新規2製品）



石井農園
十割そば



石井農園
うどん

11月25日

(4) 6次産業化及び農商工連携の推進

○本庄地区6次産業化交流会

管内の農業者と食品関連事業者との交流・商談会を開催し、販路開拓を図った。

（場所：本庄市商工会議所、
参加人数：18人）



会場の状況

12月16日

○農業の6次産業化研修会

神川町と上里町の梨生産の担い手を対象に、販路拡大を目的としたSNSを活用した情報発信の研修（講師：埼玉わっしょい大使 木村氏）と情報交換を行った。

（場所：神川町役場、参加人数4人）





情報交換の様子

6 大里地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 地産地消運動の推進
- (2) 地場産農産物の加工利用促進
- (3) 食育の推進
- (4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
10月18日 ～22日	<p>(1) 地産地消運動の推進</p> <p>○浦和競馬場での地域特産物のPR</p> <p>10月18日（月）から22日（金）までの5日間、深谷市協賛レースとして副賞（ねぎ束、ゆり束）及びファンプレゼントとして武州和牛の提供を行った。また、指定席券売機前にスカシユリを展示し、PRを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ユリの展示状況</p>
11月10日～	<p>○丸系八つ頭のPR</p> <p>丸系八つ頭の販売時期に合わせて、管内JA直売所6店舗にチラシと卓上のぼりを設置し、丸系八つ頭のPRを行った。</p>



ふれあいセンター大里店でのPR

1月11日
～2月25日

(2) 地場産農産物の加工利用促進

○食と農のオンライン展示・商談会におけるPR

大里管内から4団体が展示商談会へ出展し、地元農産物を使った6次化商品のPRを行い、地元農産物の消費拡大の推進に貢献した。

5月～2月

(3) 食育の推進

○「みどりの学校ファーム」実施校への資材等提供

小中学校単位で農園を設置し実際の農業体験を通して生命、自然や食物などに対する理解を深めるカリキュラムに必要な資材提供を行った。

管内の小中学校では種まき・植付けから収穫までの過程を授業に組み込んで実施している。収穫した農作物を給食の食材として使用している学校もあり、子供たちは自分たちで育てた農作物を食べる経験を通して様々なことを感じ、学ぶ機会となっている。



小学校での農作業体験の様子

通年

(4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

県産農産物サポート店新規登録数 4店舗

ふるさと認証食品 継続認証15製品、新規認証2製品

【新規認証】



くまのうあيس (みるく)



くまのうあيس (抹茶)

7 加須地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進
- (2) ブランド農産物のPRによる地産地消の推進
- (3) 地場農産物の加工品の開発及び販路の開拓

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取組状況
通年	<p>(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進</p> <p>○埼玉県ふるさと認証食品の推進</p> <p>認証件数 7件（新規 2件 継続 5件） うちプレミアム 1件</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>北埼玉産 干し椎茸</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中荻農園 いちじくジャム</p> </div> </div>
10月	<p>(2) 農産物直売所の活性化による地産地消の推進</p> <p>○管内ブランド農産物のPR</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、当初計画していた農産物直売所でのブランド農産物プロモーションが開催できなかった。そのため、加須農林振興センターにて、「木甘坊」トマトののぼりを作成し、農産物直売所に配布することで、ブランド農産物のPRを行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

7月～12月

(3) 地場農産物の加工品の開発及び販路の開拓

○加須市役所内で月1回、農家の『手作り加工品』をPR販売

「加須市6次化商品販促グループ」は、第3火曜日の正午から午後1時までの間、会員が開発・製造した商品を持ち寄って、市役所職員や来庁中の市民の皆さんに販売した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により限られた期間の販売となったが、ホンモロコ煮付け、ジャム、焼菓子、アイスクリームなど、好評だった。



当日の様子

通年

○開発した6次産業化商品の販路拡大支援

管内で開発支援を行った6次産業化商品の更なる販路拡大支援を行った。地元スーパー等新規販売先の確保につながった。



まるごといちじくゼリー



ホンモロコの煮付

通年

○6次産業化商品（干しいも）の新規開発支援

さつまいもの生産から収穫、加工、販売を新規で行う取組を支援した。当センターでは、栽培・保存方法、乾燥機の購入支援、干芋切り機の貸し出しなども行ったほか、講師を招聘し勉強会を開催した。

商品はJAほくさい加須農産物直売所で販売し、好評であった。



新たに開発した干しいも

8 春日部地域における地産地消の取組状況

1 令和3年度重点目標

- (1) 地元農産物の販売支援活動
- (2) 6次産業化の支援活動
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和3年度取組状況

月日・時期	取組状況
12月～1月	<p>(1) 地元農産物の販売支援活動</p> <p>○農産物プロモーション</p> <p>ブランド農産物のPRのため、地域新聞に「越谷ねぎ」、「越谷完熟いちご」、「丸系八つ頭」、「彩のきずな」の紹介記事を掲載し、プレゼント企画を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「越谷ねぎ」「越谷完熟いちご」記事 「丸系八つ頭」「彩のきずな」記事</p>
9月21日 ～24日	<p>○浦和競馬場連携によるPR</p> <p>9月21日～24日に浦和競馬場で春日部地域の特産品等の名称とした協賛レースが開催された。一部のレースでは、副賞として地元産新高梨が贈呈された。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

日付	レース名称
9月21日	しょうぶパン鬼一賞
9月22日	梨の郷 蓮田賞
9月23日	蓮田の梨・新高賞

(2) 6次産業化への支援活動

農業の6次産業化を支援するため、各種研修会の開催、新商品開発支援、商品PR支援を実施した。

3月2日
3月10日

○各種研修会の開催

「集まる・売れる」チラシ・POPづくり 参加者 14名
「宣伝媒体で「映える」写真撮影の極意」 参加者 14名

4月～3月

○新商品開発支援及び県事業推進

個別巡回により、事業者の取り組みに応じて、新商品開発支援、専門家派遣や県事業推進を行った。

新商品開発 8品目



パイ

杉戸町・(有)坂斉養鶏場



あまりんジャム

春日部市・(株)ヒロファーム

11月24日～
2月25日

○農と食のオンライン展示・商談会 in SAITAMA2022 参加2団体
TSURUOKAファーム、アルファイノベーション(株)

○農業発！新商品お披露目会

渡邊梨園



Dasaitama サイダー
(久喜市・渡邊梨園)

(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

○県産農産物サポート店の登録推進

新規登録店舗 3店舗

○ふるさと認証食品の認証推進

新規認証商品 6商品



A. myu&Kitchen
クッキー缶 4種



二合半堂まつざわ煎餅
「黒米 大丸」「よしかわチップス魔法のスパイス」

令和4年度 地域における地産地消運動の活動計画

地 域	重 点 目 標
さいたま	(1) 県産農産物サポート店の登録推進 (2) 農産物直売所（量販店地場産コーナーを含む）の販売向上への支援 (3) 農商工連携及び6次産業化の推進
川 越	(1) 地元農産物のP R活動・販売支援 (2) 6次産業化及び農商工連携の推進 (3) 食育の推進
東松山	(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物P R活動の推進 (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援 (3) 食育の推進 (4) 地元農産物の加工利用推進
秩 父	(1) 地産地消運動の普及・啓発 (2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続
本 庄	(1) 地元農産物P R活動の支援 (2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 (4) 6次産業化及び農商工連携の推進
大 里	(1) 農産物直売所の活性化による地産地消の推進 (2) 地場産農産物の加工利用促進 (3) 食育の推進 (4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
加 須	(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進 (2) ブランド農産物のP Rによる地産地消の推進 (3) 地場農産物の加工品の開発及び販路の開拓
春日部	(1) ブランド農産物の販売促進 (2) 6次産業化の支援活動 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進